

こどもの形成外科外来  
キズ・キズアト専門外来

## contents

- ・骨折リエゾンサービス
- ・地域連携研修会の報告と次回予告

### 報告

8.31 WED

### 地域連携 研修会

## 高齢者大腿骨近位部骨折患者における 骨折リエゾンサービスの取り組みと 二次骨折予防継続管理料について



山梨県立中央病院  
整形外科医師 部長

### 江口 英人

人生100年時代を迎え、健康寿命も100年を目指して骨運動器疾患の予防と治療を考える時代に突入しました。日本は既に超高齢社会を迎えており、今後さらなる高齢化率や75歳以上人口割合の上昇が予測されています。高齢化とともに認知症、脆弱性骨折は増加傾向にあり、認知症を予防し、筋骨格系の健康を保つことは健康寿命の延伸を目指す上で大変重要です。脆弱性骨折の中でも大腿骨近位部骨折は患者数が多く、日常生活動作の低下だけではなく、生命予後や医療・介護費といった社会保障費など多方面に影響を及ぼします。大腿骨近位部骨折などの脆弱性骨折を起こすと、その後の再骨折や死亡リスクが高くなることが知られており、適切な二次性骨折予防が重要であります。多くの骨粗鬆症患者に確実に治療介入を行い、長期間にわたりフォローを継続することは難しいのが現状です。2022年4月からの保険改正による大腿骨近位部骨折患者に対する二次性骨折予防継続管理料の算定という画期的な制度が開始されました。骨折の連鎖がADLの低下、生命予後の悪化をもたらすことが認知され、継続的な二次骨折予防管理が診療報酬として認められたのです。当院では2022年より大腿骨近位部骨折患者に対し、二次骨折予防のための骨折リエゾンサービス（以下FLS: Fracture Liaison Service）チームを立ち上げました。毎月FLSカンファレンスを多職種（医師、薬剤師、病棟・外来看護師、理学療法士、放射線技師、栄養士、医師事務、医療ソーシャルワーカー）で行い、多職種協働により入院中の骨粗鬆症治療の取り組みと治療状況、退院後の二次骨折予防状況に対する効果的な取り組みを行い始めました。三次救急病院である当院は、急性期医療に専念するあまり、大腿骨近位部骨折患者の骨粗鬆症治療介入率がきわめて低値でしたが今後、改善されることが見込まれます。

また、二次性骨折予防継続管理料について回復期病院では入院中1回750点を、かかりつけ医では月1回500点を1年間算定することができます。診療報酬の新設は早い段階で骨粗鬆症治療を開始することが健康寿命の延伸につながるため、かかりつけ医の先生方にも積極的に参加して頂くことが目的と考えられます。しかし、二次性骨折予防継続管理料の新設を知らない方が多いかと思えます。そのため制度を周知することが大切です。施設基準に係る届け出用紙の薬剤師には当院FLSチームのメンバーである薬剤師の河西紘作の名前を記載いただいて問題ありません。また、大腿骨近位部骨折の診断がついた時点で連絡いただき、救急車で搬送していただくことが患者さんのためになりますので早期搬送をよろしくお願いいたします。

最大の問題点は骨粗鬆症治療の継続でしたが、当院の取り組みをきっかけに地域の先生方と共に、積極的にFLS活動を進めていき、骨粗鬆症治療継続率の向上を目指し、地域全体で骨粗鬆症患者の骨折予防につなげていければと思います。

### 連携医療機関専用

山梨県立中央病院  
整形外科相談ホットライン

090-7252-8585

月曜日～日曜日 7時～23時

当院と連携していただいている医療機関へお願い

### 届出申請の問い合わせ窓口

※当院を連携病院として届出を行う場合は届出前にお電話いただき、その後様式のFAXをお願いします。

医事課 TEL (055) 253-7111 内線1324  
診療報酬担当 小田切 FAX (055) 253-2900



地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

患者支援センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1

TEL.(直通)055-253-9000/FAX.(直通)055-251-7733

# 2つの専門外来、 幅広い医療提供を目指して



## こどもの形成外科外来



こども病院のない山梨県において、当院の形成外科はこれまでも長らく小児先天性外表異常に対する診断・治療機能を担っておりました。しかしながら、小児形成外科領域では『症状のない外見だけの問題なので治療対象ではない』と誤解されてしまう疾患も多くあります。「治せるものか分からない」「どこで診てもらえばいいのかわからない」という県民の皆様の声にお応えすべく、こどもの形成外科外来を立ち上げました。当科では以下の疾患に対して手術・矯正・レーザーなどを使って治療しています。

### 対象疾患

- 口唇口蓋裂
- 眼瞼（先天性眼瞼下垂・睫毛内反症）
- 漏斗胸
- 臍ヘルニア・臍突出症
- 耳（副耳、埋没耳）
- 手足（多指症、合指症）
- 各種アザ

### 初診日 毎週水曜日 | 午前中

産科、小児科、皮膚科の開業医の先生からの診断書があるとスムーズです。  
上記診察日以外でも通常診療枠での受診は可能ですのでご相談ください

### 初回手術のデザイン



Fisher法



Rotation Advancement  
+ 小三角弁法

< 口唇口蓋裂の手術デザイン >



小児麻酔認定医による全身麻酔



副耳



形成外科執刀の様子

# Topics

## こどもの形成外科外来 キズ・キズアト専門外来 の紹介



山梨県立中央病院  
形成外科部長

梅澤 和也

形成外科は、おもに体の表面の特に顔面・手足など外から見える部位の組織欠損・変形・醜状に対する治療を行い機能回復とQOLの向上を目的とする専門外科です。当科では初代部長の小林公一医師の赴任から20余年に渡り、外傷、外傷などで生じた瘢痕、皮膚や皮下にできた腫瘍、体の表面の生まれつきの変形やあざなどを治療してまいりました。より多くの患者さんに最適かつ最新の医療を提供すべく、令和4年7月1日に「こどもの形成外科外来」と「キズ・キズアト専門外来」という2つの専門外来を立ち上げました。

CHECK  
2

## キズ・キズアト専門外来



ヤケドや関節部分のケガ等が目立つ、あるいは症状の有無にかかわらず“キズアト”で悩んでおられる患者さんは少なくありません。また、内視鏡手術やロボット手術の普及により大きな手術跡をもつ患者さんは少なくなってきましたが、“キズアト”がなくなったわけではありません。「キズ・キズアト専門外来」では傷・傷跡の正しいケア方法の指導から、症状や受傷時期に応じた適切な治療までの一連の診療を専門に行う外来を開設し、治療を行ってまいります。「キズを早く治したい」「キズアトが目立つ」「キズアトがひきつれる、痛い」という方は受診をご検討ください。

### 治療方法

- シリコン圧迫療法
- ステロイド外用・注射による保存加療
- 植皮・皮弁手術による拘縮解除
- トラニラスト内服
- 電子線照射+瘢痕切除術

### 初診日 毎週金曜日 | 午前中

外科かかりつけの先生からの診断書があるとスムーズです。  
上記診察日以外でも通常診療枠での受診は可能ですのでご相談ください



ステロイド注射



シリコン圧迫療法



ステロイドテープ

## 地域連携研修会が開催されました

4.21 THU

### 「糖尿病網膜症」

山梨県立中央病院 眼科部長 中込 友美 医師

令和4年4月21日(木)Webシステムを利用して地域連携研修会を開催しました。

当院、眼科の中込医師より「糖尿病網膜症」について講演し院内外合わせて37名の方に参加していただきました。

5.27 FRI

### 「日常みられる小児外科疾患」

山梨県立中央病院 小児外科部長 大矢知 昇 医師



令和4年5月27日(金)Webシステムを利用して地域連携研修会を開催しました。

当院、小児外科の大矢知医師より「日常みられる小児外科疾患」について講演し院内外合わせて54名の方に参加していただきました。

6.27 MON

### 「顎骨壊死について」

山梨県立中央病院 口腔外科部長 高橋 幸伸 医師



令和4年6月27日(月)Webシステムを利用して地域連携研修会を開催しました。

当院、口腔外科の高橋医師より「顎骨壊死について」について講演し院内外合わせて67名の方に参加していただきました。

7.14 THU

### 「脱水症と水分補給 ～熱中症 予防と治療～」

山梨県立中央病院 高度救命救急センター 救急業務統括部長 岩瀬 史明 医師



令和4年7月14日(木)Webシステムを利用して地域連携研修会を開催しました。

当院、高度救命救急センターの岩瀬医師より「脱水症と水分補給～熱中症 予防と治療～」について講演し院内外合わせて83名の方に参加していただきました。

## 次回研修会

Web研修会

Zoomでの開催

日時:10月27日(木)  
18:00~

### 4つの課題について

メンタルヘルス・HIV以外の病院診療・  
子供をもつこと・依存症

日本HIV陽性ネットワーク  
JaNP+(ジャンププラス)

代表理事 高久 陽介先生

研修会の情報はホームページでも  
ご案内しています。併せてご覧下さい。

<http://www.ych.pref.yamanashi.jp/>

▶ ホーム / 医療関係者の方へ /  
講演会・研修会 / 地域連携研修会



紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、  
かかりつけ医によるFAX予約ができます。 **FAX. 055-253-2903**

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。

体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状(診療情報提供書)を持って受診してください。

紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

1

### かかりつけの 医院を受診

紹介状をもらって  
ください

2

### 専用ダイヤルにお電話

以下にお電話ください

☎055-253-7900

9:00~17:00 月~金(祝祭日除く)

①紹介状②電話診療予約申込書  
③当院の診察券(お持ちの方は)

お電話前に  
準備して  
ください

3

### 受診当日

ご予約30分前に総合案内にお越しください

お持ちいただく物

①紹介状 ②電話診療予約申込書  
③保険証 ④当院の診察券  
⑤受給者証(老人医療、公費等該当する方)